

■発表者プロフィール

(発表順・敬称略)

「土佐鐔について」

土佐歴史資料研究会 公文 久雄

公文 久雄（くもん ひさお）1949年生れ。有限会社公文食品 代表取締役。土佐歴史資料研究会 副会長。高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会会員。土佐史談会会員。

「龍馬が開眼した旅路～四国龍馬街道～」

NPOロンプ代表 春野 公麻呂

春野 公麻呂（はるの きみまる）自然と歴史に関する郷土ガイド書専門の文筆家兼出版家。元高知新聞登山講座講師。往復踏査距離は1,000キロを超える。踏査成果は「龍馬が辿った道」（ロンプ刊）シリーズや県内外の写真展で発表している。

「池道之助旅日記（思い出草・嘶しの種）を読んで」

池道之助 5代目 鈴木典子

鈴木 典子（すずき のりこ）ジョン万次郎の従人として貴重な記録を残した万次郎と同郷の池道之助 5代目子孫。1967年3月 高知県立土佐清水高校卒。同年6月 松山市道後一万のキリスト教会松山福音センターに入り43年、現在に至る。

「幕末土佐に於ける鉄砲の変遷」

土佐歴史資料研究 小島 一男

小島 一男（おじま かずお）1944年高知市春野町生れ。1963年 K. K. 住友精密工業入社。定年後2007年 土佐史談会会員。2008年 土佐歴史資料研究会理事（関西支部長）。2009年 高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会会員。

「幕末の色 ～龍馬のモダンなカラーセンス」

カラーオフィスPERSONAL代表 大倉 美知子

大倉 美知子（おおくら みちこ）文科省認定「1級色彩コーディネーター」資格を持つ、「日本色彩学会」正会員カラリスト。1999年四国初のカラーオフィスを高知市で開業、現在に至る。高知新聞連載「幸せ色に包まれて」執筆の他、高知大学、国際デザインビューティーカレッジの非常勤講師を務める。

「明智光秀と龍馬」

高知大学国際・地域連携センター教授 坂本 世津夫

坂本 世津夫（さかもと せつお）高知大学国際・地域連携センター教授（生涯学習部門長）。ICTを活用した地域の振興や地方再生に取り組む。地域産業おこしに燃える人（内閣官房・経済産業省）、地域活性化伝道師（内閣官房）、地域情報化アドバイザー（総務省）、土佐学協会副理事長、現代龍馬学会理事。

「坂本龍馬と竹島開拓」

歴史研究家 小美濃 清明

小美濃 清明（おみの きよはる）1943年東京生れ。歴史研究家。早稲田大学卒。1994年幕末史研究会を創立し活動中。龍馬研究家宮地佐一郎氏に師事。著書『坂本龍馬と刀剣』（1995年刊）『坂本龍馬・青春時代』（1999年刊）『坂本龍馬と竹島開拓』（2009年刊）以上新人物往来社 共著『龍馬の世界認識』（2010年刊）藤原書店などがある。